

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

羽毛羽布団工場におけるボイラーの更新による
排出削減事業（A 重油→都市ガス）

排出削減事業者名：西川レベックス株式会社

排出削減事業共同実施者名：カーボンフリーコンサルティング株式会社

その他関連事業者名：藤井産業株式会社

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	西川レベックス株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	西川レベックス株式会社
住所	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地 40 番地 3
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	カーボンフリーコンサルティング株式会社
その他関連事業者（注）	
関連事業者名	藤井産業株式会社

（注）その他関連事業者とは、排出削減事業共同実施者とは別に、排出削減に寄与する設備機器の生産・販売者、国内クレジットの創出コストの低減を図る事業の集約を行う者等をいう。

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

羽毛布団工場におけるボイラーの更新による排出削減事業（A 重油→都市ガス）

2.2 排出削減事業の目的

事業所のボイラー設備を高効率のものに更新することにより、省エネルギーおよび CO2 排出量削減を測る。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

A 重油炊きボイラーを高効率のガス炊きボイラーに更新することで、エネルギー効率を改善する。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

排出削減事業モニタリング指標

項目番号	変更項目	変更内容	変更前	変更後
5	F _{fuel,Pj} : 事業実施後燃料使用量	モニタリング方法	燃料供給会社からの請求書に記載された使用量を標準状態に換算・集計する	各ボイラーに設置された管理メーターで実測された数値を標準状態に換算・集計する

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2010年 2月 16日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年 4月 1日 ~ 2018年 2月 15日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

なし。

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

本事業の範囲は、更新対象のボイラーおよびそれに付随する設備である。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある 場合、) 変更理由
$F_{\text{fuel,Pj}}$	事業実施後燃料使用量	千 m ³ N	2013年度：63.245 2014年度：60.206 2015年度：60.012 2016年度：85.256 2017年度：95.100	各ボイラーに設置された管理メーターで実測	事業開始当初から管理用メーターを実測していた。メーターについては、計量法に従い、有効期限内で交換。
$HV_{\text{fuel,BL}}$	A重油の単位発熱量	GJ/kl	2013年度 ~2017年度：38.9	J-クレジットデフォルト値	
$HV_{\text{fuel,Pj}}$	都市ガスの単位発熱量	GJ/千 m ³ N	2013年度：44 2014年度：46.4 2015年度：46 2016年度~ 2017年度：45	J-クレジットデフォルト値	
ε_{Pj}	事業実施後のボイラーのエネルギー消費効率(高位発熱量換算)	%	86.4	カタログ値をもとに算定	
ε_{BL}	事業実施前のボイラーのエネルギー消費効率(高位発熱量換算)	%	80.8	カタログ値をもとに算定	
$CF_{\text{fuel,BL}}$	事業実施前の燃料(A重油)の単位発熱量あたりの排出係数	tCO ₂ /GJ	2013年度~ 2017年度：0.0708	J-クレジットデフォルト値	
$CF_{\text{fuel,Pj}}$	事業実施後の燃料(都市ガス)の単位発熱量あたりの排出係数	tCO ₂ /GJ	2013年度~ 2017年度：0.0513	J-クレジットデフォルト値	

※1 モニタリング期間において、気象庁統計データより栃木県(宇都宮)での平均気温および中圧(2kPa)から標準状態へ換算

7 排出削減量の計算

7.1 事業実施後排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	63.245	44	0.0513	142.8
2014 年度	60.206	46.4	0.0513	143.3
2015 年度	60.012	46	0.0513	141.6
2016 年度	85.256	45	0.0513	196.8
2017 年度	95.100	45	0.0513	219.5
	千 m ³ N	GJ/千 m ³ N	tCO ₂ /GJ	tCO ₂
	EM _{PJ}			844.0

7.2 ベースライン排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	2,975.6	—	0.0708	210.7
2014 年度	2,987.2	—	0.0708	211.5
2015 年度	2,951.9	—	0.0708	209.0
2016 年度	4,102.4	—	0.0708	290.5
2017 年度	4,576.1	—	0.0708	324.0
	GJ/年	—	tCO ₂ /GJ	tCO ₂
	EM _{BL}			1,245.6

7.2 リークエージ排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	0			0
2014 年度	0			0
2015 年度	0			0
2016 年度	0			0
2017 年度	0			0
	LE			0

7.3 温室効果ガス排出削減量

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	<i>EM_{BL}</i>	1,245.6
事業実施後排出量	(7.1)	<i>EM_{PJ}</i>	844.0
リーケージ排出量	(7.3)	<i>LE</i>	0
温室効果ガス排出削減量		<i>ER</i>	401

8 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン ①	実績 ②	ベースライン －実績 ①－②
451.7	422.4	29.3

省エネルギー量（原油換算）＝451.7－422.4＝29.3 (kl)

省エネルギー量（熱量換算）＝17,506.5－16,371.8＝1,134.7 (GJ)

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。

9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2013年 4月 1日 ~ 2017年 3月 31日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)